



地域にひろがる助け合いの輪

事業や組合員活動を通じて地域の諸団体と連携しながら取り組みを進めています。

地域との連携: コープの地域見守り活動 見守り協定

コープみらいは、自治体との見守り協定を締結し地域の見守り活動への参加を進めています。商品の配達・店舗来店の際に、地域住民の異変を発見した時、行政の窓口へ連絡をします。

2017年度は73件の通報・連絡を行いました。

また、毎年自治体の首長を訪問し、コープみらいの取り組みの紹介や地域における課題や問題などについて懇談しています。2017年度は135自治体を訪問しました。

見守り協定

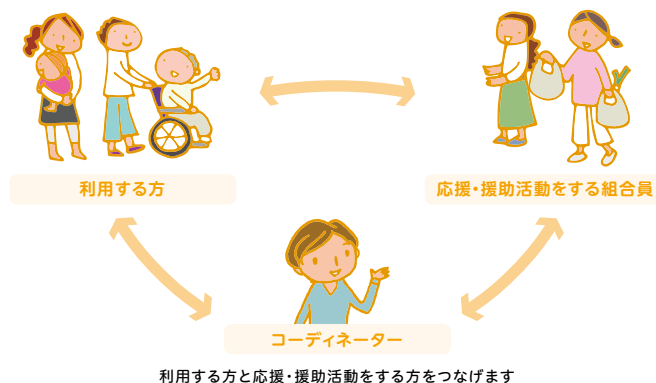
県	自治体数	締結数			締結率
		2015年度	2016年度	2017年度	
千葉	54	54	54	54	100%
埼玉	63	47	59	61	96.8%
東京	53※	39	48	52	98.1%
計	170	140	161	167	98.2%
自治体への通報件数		88	116	73	

※ 島しょ部を除きます

地域の中で組合員どうして助け合い たすけあいの活動

高齢・障がい・病気・けが・産前産後・子育て中など暮らしの中で手助けが必要な組合員と、お手伝いができる組合員をつないで助け合う、有償のボランティアの取り組みです。都県単位に、「おたがさま」「くらしのたすけあいの会 ミニハート」「コープくらしの助け合いの会『プラトマトの会』」があります。

2017年度の活動時間数は72,484時間でした。



家庭で眠っている食品をフードバンクに寄贈しています フードドライブ

まだ食べられるのに廃棄される食品を回収し、生活困窮者へ提供するフードドライブ活動が広がっています。組合員が、自分の家に眠っている食品をフードバンクに寄贈する活動です。埼玉県では組合員活動の施設のコーププラザ、千葉県では、コープみらいの2店舗に回収ポストを設置、またイベントなど、さまざまな場でフードドライブに取り組みました。その結果2017年度は2,138.2kgの食品をフードバンクに寄贈することができました。昨年比775%になります。



千葉の店舗に設置した食品回収BOX